

国際法(教職)

科目ナンバリング ESS-202
選択 2単位

五十嵐 卓司

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、教職課程履修者の「教科に関する専門科目」の1つである。授業では、中学校社会科の公民分野及び高等学校政治経済・現代社会のなかで、取り扱われている国際法に関わる事柄についての学習を通じ、教科教育に必要な国際関係、国際法に関する知識の習得を目指す。

2. 授業の到達目標

中学校社会科の公民分野や高等学校政治・経済、現代社会の授業ををするために必要な見方・考え方を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業への参加状況と模擬国連に関する課題等(50%)、授業内試験の成績(50%)を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

中学校社会科教科書(公民的分野)

高等学校公民科教科書(現代社会)

(※詳細は、授業時に説明する。)

5. 準備学修の内容

- 1) 国際法の働きとその重要性を理解すること
- 2) 様々な社会問題に興味・関心を持つこと。
- 3) 主体的に学び、協同的に学び合うこと。
- 4) 自分の考えをしっかりと持ち、表現できること。
- 5) 知識の習得はもちろん、社会科の授業を作るための思考力・判断力・表現力を修得すること。

6. その他履修上の注意事項

- 1) 教職科目の専門科目なので欠席しないことはもちろんのこと、積極的な授業参加を求める。
- 2) 第1回オリエンテーションには、必ず出席すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 主権国家・国際社会の成立と国際法
- 【第3回】 2度の大戦と国際機関
- 【第4回】 国際連合の役割
- 【第5回】 国際連合とPKO
- 【第6回】 自衛隊とPKO
- 【第7回】 冷戦と軍拡競争
- 【第8回】 冷戦と核不拡散条約
- 【第9回】 Hibakushaと核兵器禁止条約 ヒロシマ・ナガサキを通して
- 【第10回】 Hibakushaと核兵器禁止条約 条約採択の背景
- 【第11回】 模擬国連(1) 担当国を決める、グループワーク
- 【第12回】 模擬国連(2) ポジションペーパーとスピーチ原稿
- 【第13回】 模擬国連(3) 模擬国連の実施
- 【第14回】 模擬国連(4) 模擬国連の振り返り
- 【第15回】 まとめ(授業内テスト)